

9月

ふれあいルーム便り

通所介護・地域密着型認知症対応型通所介護
医療法人社団芙蓉会 デイサービスふれあいルーム

2023年9月15日 No.336

寸劇 金太郎

朝晩がだいぶ過ごしやすくなり感じられるようになりました。ふれあいルームでは芸術の秋と言うことで、金太郎の寸劇を披露いたしました。ちょっとユーモアのある金太郎が仲間の動物たちと一緒に、いじめっ子のクマを退治に行く、ふれあいルームオリジナルストーリーです。

元となる金太郎は日本人であれば誰もが知っている昔話の一つで、聞いたことのある話にもう一度触れる機会になり、より懐かしさを感じられます。スタッフの仮装に、皆さん嬉しそうに手を振ってくれたり、拍手を頂いたり。演じている側もまた楽しくなり、気合が入りました。次回のリクエストも入っていますので、またお披露目できる日をお楽しみに！



オリジナルストーリーで大笑い



お神輿の完成 病棟・ふれあい交流

去年から病棟とふれあいルームの交流として、敬老祭のお神輿をふれあいルームの皆さんで制作しています。鳳凰が自慢のお神輿が完成しました。今回のお神輿以外にも、病棟へ壁面飾りなどを制作しプレゼントしています。

貢献活動に関わる事は、本人の健康にも良い影響があり、社会の中での存在意義や何らかの社会的役割を果たすことは生きがいになると言われています。病棟に贈るという「目標」は活動に対して興味が沸き自発的になり、共同作業はコミュニケーションが積極的になります。大型作品の制作は、完成した時の達成感も大きく、仲間と一緒に完成させたことにより、一体感も実感することが出来ます。出来上がった作品を前に写真を取ったり、語り合う姿はとてもイキイキしています。



折り紙教室



水曜日は折り紙ボランティアさんが来て下さってます。初回はステキな作品を色々紹介して下さいました。



折り紙がおすすめな理由は、誰もが一度は経験したことがあり親しみやすいからです。折り紙なら、子どもから高齢者まで遊んだことがない人はいないほど身近な存在であるため、気軽に楽しめます。また日本の伝統的な遊びでもあり、さまざまな折り方があります。簡単な折り方から始めることもできれば、難しい折り方に挑戦することもできるのが折り紙の魅力です。「あれ、ここはどう折るの」「次はどうするの、教えて」と声のトーンがワクワクしています。親近感がある折り紙から脳トレを始めることで、新しいことに挑戦する心理的なハードルも下がりやすくなるでしょう。



みなみまわりプロジェクト

「南地区ミーティング」という町田市の南地域を元気にしたい、という思いから立ち上った南地区協議会エリアの住民主体のプロジェクトに、ふれあいルームも参加しました。南地区の人々へ元気を届けられるよう、沢山のひまわりを育てました。ご利用者も散歩しながら元気をいただいています。



公文学習で脳を活性化

ご利用者(希望者)に、くもん学習療法(読み書き・数字盤)を中心とした学習療法を実施しています。10月より新たに学習療法実践士の資格を所得したスタッフが増えました。認知予防に効果的な学習を行う事で、ご利用者に笑顔が増える様、今後も継続していきます。興味がございましたら、スタッフにお声掛け下さい。

藤田 スタッフ

ご利用者の「楽しい」という気持ちを大切に、コミュニケーションを取りながら”頭の体操”のサポートをしていきたいと思っています。

高橋 スタッフ

公文学習療法を通して、今や昔の色々な話を聞くことができ嬉しいです。これからも皆さんと笑顔で楽しく脳を活性化していけたらと思います。



ご利用日の案内

月曜～土曜日、祝祭日
9:30～16:40
日曜日はお休みです